

## 各地の力を感じさせた夏のCAI研修会

この夏も全国各地の先生方が、CAIの教材開発の研修に取り組みました。毎年参加される常連の顔、新しい顔。クラスルームCAI（スタディーシリーズ）の仲間は着実に拡大していることを改めて実感した。

今年の研修会の特徴

今年は地方独立の年であった。各地で独自に研修会を企画・運営してもらった。筑波大学の関係者が企画・運営していた昨年までとは一味違った研修会であった。筑波大学が直接関与しなくても立派な研修会ができるだけの力が各地に蓄積したことは、大変嬉しいことである。本当の意味でクラスルームCAIが根づいてきた証拠とも言える。

地域研修会に先立って行われた1泊2日のインストラクター研修会には、各地域の指導者にあたる方々が参加され、地域研修会の開催・運営・指導に必要な事柄について特訓を受け、情報を交換した。それを基礎に各地の地域研修会は運営された。

インストラクター研修会

インストラクター研修会に参加されたある先生からは「インストラクター道場という名称をつけ、それに相応しい内容にすべきだ」と感想がよせられている。また、地域研修会が終了してまもなく、あるインストラクターからは「これまでとは違った勉強ができて大変よかった。来年も是非やりたい」と地域研修会を運営した苦労と成功した自信に溢れる報告もいただいた。来年度のインストラクター研修会の内容や方法は、今年度の地域研修会の成果と残された課題を十分に考慮して、企画・運営したいと思う。

暖かい声援に支えられた地域研修会

地域研修会は各地のニーズに対応した内容と日程で実施され、大きな成果をおさめた。

教育委員会のスタッフや校長先生自らが食事の度に味噌汁を作って支援して下さった地域もある。夜中に各部屋をまわって缶酎杯を参加者にサービスして下さった指導主事もいらした。心和む温かさの中で研修が進められたことは、本当に有り難いことだと感謝の気持ちで一杯である。しかし、少数であるが、まわりの理解の無さに愕然とした思いをした地域もあった。まだ、まだ、頑張らなければならないと思う。

地域研修会で最も勉強できたのは、各地のインストラクターであったかも知れない。受講者に全員に満足してもらえる研修会をモットーに頑張った。張り切りすぎて、多少盛り沢山の課題になってしまったような傾向が各地で見られた。枝葉の内容を切り捨てるには、インストラクターの確かな目と自信と勇気が必要だ。

操作中心の研修会にはフォローが必要

操作中心、オーサリング中心の研修会を行った地域は、今後のフォローが重要な意味をもつ。操作ができるだけで満足していると、優れたコースウェアが作成できないことを、多くの仲間が痛感しているからだ。操作に重点をおいて研修をおこなった地域は、明確な教育目標、子どもの実態の把握、適切なコース展開など、コース作成の基礎基本を常に大切にできるように、今後のフォローをお願いしたい。

来年度の夏の研修会の予約がすでに2件入っている。この事実が、夏の研修会が成功だったという何よりの証拠であろう。  
(今は健康な東原義訓)

橋本祥子先生（仁川学院小）と和田雅彦先生（並木小）の  
コースウェアが平成3年度学習ソフトコンクールに入賞！

平成3年度学習ソフトコンクール（財団法人学習ソフトウェア情報研究センター主催）において、ECO Newsの読者でもある橋本先生と和田先生が、次の二作品でそれぞれ上位入賞を果されました。

**優秀賞**

『太陽と季節』

（橋本祥子先生：兵庫県仁川学院小学校）

コース概要：一斉授業においてOHP的に使えるよう工夫された理科の演示・提示型コースウェア。地軸の傾き

によって太陽高度が変わることと、太陽高度と昼の長さの変化が季節に関係することを理解させるものです。画面上で地球がくるくる回る様子が印象的で、一度見たら忘れられなくなります。

**準優秀賞**

『世界と結びつく日本人の生活』

（和田雅彦先生：つくば市立並木小学校）

コース概要：社会科のコースウェア。日本食の代表であるてんぷら蕎麦の原料を求めて世界をまわる体験をします。

そして、世界における日本の食料依存度を世界の国々との貿易を通じて学ばせるコースウェアです。

このコンクールは、今年で7回目になります。お二人の先生は、今回初めての応募でいきなり入賞という快挙になったわけです。

ECONewsの寄託コースウェアには、両先生のものに優るとも劣らないものもたくさんあります。そういう意味で、両先生の快挙は、ECONewsにコースを寄託されている多くの先生方にとっても大きな励みになる

と思います。これからも大いに自信をもって、コース開発に取り組んで行って下さい。

ところで、今回入賞されたコースは、どちらも夏の合宿研修で作られ、その後、手を加えて完成させられたものです。今年の夏、合宿研修に参加されたあなた、この秋、もう一頑張りしてコースを完成してみても如何がでしょうか？

(余田義彦)

## 徳島県上板中学校の取り組みに学ぶ

### 学校へのコンピュータ導入を成功させる秘訣

ECONewsは、この夏最初のCAI地域研修会を、徳島県板野郡上板町の上板中学校でおこないました。上板中は、今春にクラスルームCAIを導入した学校です。

上板中を訪れてまず感心させられたことは、CAI室の稼働率の高さでした(右表参照)。ECONews関係校の場合、コンピュータを詳しく知らない先生までごく自然にコンピュータ授業をおこなっているところが少なくないわけですが、上板中にも導入後3ヶ月でそのような雰囲気が出来上がっていたのです。

先生方との歓談の中で、同校の成功の秘訣が、未来の教育に対する先生方一人一人のビジョンの的確さ、研修体制、教室運用に関するいろいろな工夫などにあることがわかりました。また、先生方、管理職、行政の三者の足並みがぴったりであったことも重要な要素であることがわかりました。それらのうち、研修体制、教室運用などに関する工夫のうち、他の学校でも参考になるようなことから、以下で紹介したいと思います。

#### 1. 各科からCAI委員を選出

CAI室の運用や研修を協議・企画してゆく委員を、国社数理英音美技保体全ての教科から一人ずつ選び、校務分掌の一つとして位置づけた。

#### 2. 無理のない年間目標の設定

同校では、ワープロ利用による文集作成と各教科におけるCAI授業を大きな柱に据えた。そして、全学年でその二つをおこなっている。マニアックなコンピュータ利用に走らず、わかりやすいワープロとCAI利用に焦点を絞ったことが多くの先生方の協賛を得る結果につながった。

#### 3. CAI室の開放

生徒全員に一枚ずつフロッピーを持たせ、管理させるようにした。CAI室は、夏休みや放課後も開放し自由に使えるようにした。そして、夏休みの開放期間については、クラスごとに優先利用の日を決め、その日に登校するとクラスのみならずでコンピュータが使えるようにした。

表. 上板中CAI室の利用状況

(4/2~7/20) ※単位は時間

1. 教科時数	国語	1
	数学	13
	社会	1
	理科	12
	英語	11
	技術	46
	美術	8
2. 教科外時数	ワープロ	45
	英語検定学習	4
	美術部	2
	テニス部	1
3. 職員全体研修		6
	合計時数	144

#### 4. 年間計画表の作成

CAI室をその場その場の思い付きで利用してゆくのではなく、研修、CAI利用、ワープロ文集に関する年間計画をたてて利用していた。

#### 5. 計画的な研修体制

全員参加の校内研修を月一回のペースで計画的に実施していた。また、筑波大、先進導入校、各地での研修会などに毎回2~3名が参加していた。

#### 6. CAI室利用のための細かな配慮

CAI委員が、各科で利用できるコースウェア一覧を配付し、その内容を紹介していた。また、授業予約の制度(相談ありの早いもの勝ち)を設け、職員室で予約できるようにしていた。

#### 7. CAIは作るより使え

コース開発を考えるよりも、まずECONewsで配付される既存のコースを授業で利用することを考えていた。

#### 8. CAI室の利用記録

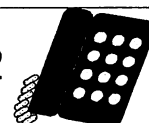
CAI室の利用状況を的確につかむため、利用記録ノートを作り、先生方にいつの何時間目にどの教科でどのように利用したか記録をつけてもらっていた。

## コースウェアのご紹介

【コースウェアの配布をご希望の方は、初期化したフロッピーと約束書をECONEWSへお送り下さい。フロッピーにはコース名を書いたラベルを貼って下さい。】

No.	科目	学年	コース名	サイズ	作成機関・作成者	児童・生徒の活動とコンピュータの役割
59	性教育	小5	生命の誕生	640kB	福井市立 春山小学校 前田（ふ） 間脇 前田（せ） 渡辺	めだかのキャラクターから、たまごからめだかが生まれて来るしくみを教えてもらった後保健室の先生やおかあさんの話を聞いたり、クイズに答えながら、ヒトの生命の誕生する仕組みを知り、お互いの命を大切なことを学習する。本当に対話しているように、児童の名前を呼びかけるテキストが出される。
60	美術	中1	四方連続模様	320kB	つくば市立 桜中学校 鈴木信昭	シミュレーションによって、四方連続模様のイメージをつかんだ後で、連続模様とした時に、すつきり見えるユニットの形の条件や、色彩の考え方についてコンピュータのアドバイスをうけながらワークシートにまとめる。それをもとに、実際に1つのユニットのデザインし、四方連続模様を完成する。
61	国語	中3	短歌を作ろう	320kB	つくば市立 桜中学校 根本光子 飯田文夫 飯塚かほる	先輩の作った短歌を鑑賞した後で、短歌を作る時のきまりや実際に作る時の注意点や、感動をよく伝えるための表現の工夫についてコンピュータのアドバイスを受けながら、中学校生活の思い出、今後の夢などを、短歌の形式を使って表現する。

## 98/FM用studYwriter News No.4 9/02



### ☆各地でスタディーシリーズ採用

98導入校やTOWNS導入校でのスタディーシリーズ採用決定が相次いでいます。学校単位というより市町村単位での決定が多いのは、やはり互換性に優れているからでしょう。98が入ったもののほとんど利用されていないというK市の先生からは、スタディーシリーズによせる熱い期待が感じられました。ECO Newsでは、近々、導入地域の具体的な紹介を掲載する予定です。

### ☆98用スタディーネットはBRANCH 4670IIで

98でスタディーネットを利用するためには、NEC製のBRANCH4670II という名称のネットワークが必要で

す。ハードウェアの導入時にはご注意ください。

### ☆富士通用スタディーネット間もなく完成

FMRやTOWNS導入校のためのスタディーネットが、近々完成の見込みです。今年度のコンピュータ導入校は、FM用スタディーネットの導入も検討してください。

### ☆スタディーライター研修会開催される

各地でスタディーライターを利用してのコース開発の研修会が開かれました。参加者とその紹介者には、3万円でスタディーライター（98用、FMR用、TOWNS用）が入手できる特典が付き、話題を呼んでいます。希望者はECO Newsまで。

## ECO Newsの仲間たち

- ・『教育こうべ特集・こんにちはパソコン教室』6月号（神戸市教育委員会）  
小寺小学校をはじめ神戸市内のコンピュータ導入校の紹介と、市のCAIへの取り組みを紹介した特集号。
- ・『NEW教育とマイコン』9月号（学研）  
東原義訓「教育ネットワーク10の誤解」、近藤憲司・加藤次郎「本格的CAIで実現する学習の個別化」  
大竹隆夫「システムの構成から見た校内LANの利便性」

## 著作権の侵害にご注意!

「教材ソフト著作権、あま〜い先生の認識」このような見出しの記事が、8月2日、読売新聞夕刊の第一面（地域によっては第二面）にでかでかと掲載されました。内容を、かいつまんで紹介すると次のようなものです。

「東京で開催された教育ソフト展で、先生自作のソフトの展示がおこなわれた。会場に来ていた植物学者が、展示されているソフトを試したところ、その人が著した図鑑の内容をそのままソフトに載せたものであることがわかった。抗議の結果、作成者の先生も事実を認めて謝罪し、それまで他の人に配付していた同ソフトの回収を約束した。」

教育現場における著作権の侵害は大きな問題となっています。著作権法には、教育現場での著作物の複製を限定

条件付きで認める条文（25条）があります。しかし、それは教材として小説の1頁をコピーして配付するというような常識的な範囲に限られ、無制限な複製が許されるわけではありません。

新聞記事は極端な例としても、コース開発で、写真、絵、楽譜などの画像情報を出版物から取り込んでいる例はよく見ます。こうした行為は、著作権の侵害にあたることか少なくないので、注意が必要です。また、資料などで特に引用したり参考にしたものがあれば、コースのタイトル画面にそのことをクレジットしておくべきです。

それから、マンガの主人公などを登場させているコースも、よく見られますが、これも問題になる場合があります。「かん太君」のように、みんなで使えるキャラクター（著者がECO Newsで流通するコースに限り自由な使用を認めたもの）を増やしてゆくことが必要です。

## 公開授業のお知らせ

期日	主催及び後援	会 場	問い合わせ先	公開される授業・講演等
9/26	主催：玉山村立外山小学校 玉山村教育委員会	岩手県玉山村立 外山小学校 〒028-27 岩手県岩手郡玉山村 大字藪川字外山27-7	外山小学校 Tel.0196-81-5056	公開授業（算数の複式指導） CAIコース体験 講演（筑波大学 中山）
11/1	主催：滑川市小学校 教育委員会 後援：滑川市教育委員会	滑川市寺家小学校 〒936 富山県 滑川市寺家町98	寺家小学校 早川教頭先生 Tel.0764-75-0165	滑川市教研発表会 13:30～ 公開授業 （6年算数 分数と小数ドリル）
11/12 ～ /13	主催：岩手県小学校教育 工学研究会、岩手県 中学校教育工学研究会 後援：岩手県小学校長会 岩手県中学校長会	岩手県滝沢村立 篠木小学校 滝沢村多目的センタ JR田沢湖線 大釜駅下車	靑山小学校内 岩手県教育工学 研究会事務局 西前和恵 Tel.0196-47-0121	公開授業（算数、社会） コースウェア体験 オーサリングシステム入門 講演（筑波大学 中山） 実戦発表
11/15	主催：滑川市教育委員会	滑川市北加積小学校 〒936 富山県 滑川市中塚425	北加積小学校 寺崎先生 Tel.0764-75-0595	公開授業（3年理科 磁石）
11/22	主催：南部町教育委員会 和歌山県教育委員会 後援：文部省(?)	南部中学校 〒645 和歌山県 日高郡南部町芝510	南部中学校 久保先生 Tel.0793-72-2144	文部省依託研究の発表 公開授業 （2年英語、2年理科） 講演（筑波大学 東原）
11/28	主催：長野県教育委員会 松川村教育委員会 松川小教育委員会	松川小学校 〒399-85 長野県 北安曇郡松川村 7016-1	松川小学校 渡辺教頭先生 Tel.0261-62-2069	公開授業（5年算数 平行四辺形・台形の面積） 講演（筑波大学 東原）
11/29	主催：豊野町教育委員会 豊野中学校	豊野中学校 〒389-11 長野県上水 内郡豊野町豊野814	豊野中学校 大沢先生 Tel.0262-57-2313	公開授業（3年数学 カブリ ジオメトリを使った図形学習） 講演（筑波大学 東原）

お願い：皆さんの学校でも公開授業の予定がありましたら、ECO Newsへお知らせください。次号で紹介します。



連絡先

〒305 つくば市天王台 1-1-1  
筑波大学学術情報処理センター4F  
ECO News係  
Tel. 0298(53)2454 Fax. 0298(53)2983